

平成29年度  
「障害者の生涯学習支援活動」に係る  
文部科学大臣表彰

# 事例集

平成29年度  
文部科学省 生涯学習政策局  
生涯学習推進課 障害者学習支援推進室

## 平成 29 年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 事例集の発行にあたって

文部科学省では、障害者が生涯にわたり自らの可能性を追求できる環境を整え、地域の一員として豊かな人生を送ることができるよう、省内の体制を確立するため、「特別支援総合プロジェクト特命チーム」を設置するとともに、平成 29 年 4 月から生涯学習政策局に「障害者学習支援推進室」を新設しました。

現在、教育、スポーツ、文化の施策全体にわたり、障害者の生涯を通じた多様な学習活動を支援するため、学校卒業後における学びの支援、福祉・保健・医療・労働等の関係部局と連携した進学・就職を含む切れ目ない支援体制の整備、障害のある子供の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援する特別支援教育、障害者スポーツや障害者の文化芸術活動の振興等に関わる取組を横断的かつ総合的に推進しています。

この取組の一環として、今年度初めて、障害者の生涯を通じた多様な学習を支える活動を行う個人又は団体について、活動内容が他の模範と認められるものに対し、その功績をたたえ、文部科学大臣表彰を行うこととなりました。

本事例集は、今年度表彰対象となった 61 の個人及び団体の活動を広く紹介するため、関係者の皆様に作成いただいた内容を冊子にまとめたものです。本事例集を多くの方に御覧いただき、障害者の生涯学習支援活動が一層推進されることを期待いたします。

最後に、本事例集作成に当たりまして、被表彰者や都道府県、市区町村、関係団体等の関係者の皆様方に多大な御協力をいただきましたことを、心より感謝申し上げます。

平成 29 年 12 月

文部科学省 生涯学習政策局

生涯学習推進課 障害者学習支援推進室長 橋田 裕

## 目次

No.	推薦者	被表彰者の名称 (個人名・団体名)	活動名称	こんな活動です	分野	ページ
<b>【都道府県・指定都市関係】</b>						
1	北海道	満田つもる	北海道における障害者スポーツに関する指導・普及	身体障がい者全般にわたるスポーツ指導・普及	スポーツ	1
2	北海道	布の絵本のんの	布の絵本の製作及び製作品の補修	障害児や誰もが楽しめる布の絵本の製作	文化	2
3	青森県	十和田点訳・朗読奉仕会	市広報・議会だよりの録音テープ製作及び青森県視覚障害者情報センター依頼の点字・音訳図書製作	見ることが不自由な人のための本づくり	学習	3
4	青森県	ボランティアサークル 虹の会	知的障がいのある成人の生涯学習スクール「ピュアフレンズ」	障がいに立ち向かい生きがいを求め活動する人たちを応援します！	学習	4
5	岩手県	特定非営利活動法人岩手音声訳の会	録音図書製作事業等	望まれる録音図書を正確に迅速に！	文化	5
6	宮城県	宮城MAX	車椅子バスケットボール	車椅子バスケットボール体験教室	スポーツ	6
7	秋田県	NPO法人 障害者アクアレッスン ミラクルスイミー	障害児・者に対する水泳指導	プールを通して健康増進・社会参加！	スポーツ	7
8	山形県	尾花沢市身体障害者福祉協会	障害者スポーツ・レクリエーション	障がい者スポーツレクリエーションで生き生き元気！	スポーツ	8
9	栃木県	熱気球ふれあい事業実行委員会	熱気球ふれあい事業	障がいのある人も無い人も、みんなで熱気球を楽しもう！	学習	9
10	栃木県	特定非営利活動法人 次世代たかねざわ	なかよしコンサート	みんなバリアフリーで音楽を楽しもう	文化	10
11	埼玉県	埼玉県点訳研究会	視覚障害者及び公共図書館、視覚障害者情報提供施設のための点訳奉仕	読みたい・知りたい・学びたい視覚障害者のために！	学習	11
12	千葉県	須和田 日曜大学	日曜大学	サークル活動を通して、みんなで楽しみ語り合おう。	学習	12

No.	推薦者	被表彰者の名称 (個人名・団体名)	活動名称	こんな活動です	分野	ページ
<b>【都道府県・指定都市関係】</b>						
13	千葉県	浦安市堀江公民館	きぼう青年学級	ノーマライゼーションの理念に基づき、就労する知的障がい者の余暇支援、地域交流事業の実施支援、社会的自立支援などを目的として、ボランティアスタッフの協力のもと、地域に根差した公民館事業として開催しております。	学習	13
14	東京都	遠藤 美枝子	視覚障害者等に対する音訳活動 対面音訳や録音音訳に携わる音訳者の育成	視覚障害者のための音訳活動、音訳活動の支え手である音訳者の育成を通して視覚障害者の生涯学習を支援	学習	14
15	東京都	特定非営利活動法人 えこお	スポ・レクひろば	知的障害者を対象としたスポーツ・レクリエーション活動	スポーツ	15
16	東京都	市川 健一	障がい児スポーツ教室	学齢から18歳以下の障がいのある子供等の余暇活動を支援する教室	スポーツ	16
17	東京都	松本 芳信	すみだ教室	義務教育終了後の知的障害者が、社会生活のルールやエチケット、仕事に対する心構えを学ぶとともに、スポーツ・文化活動等とおした仲間づくり、余暇を有効に利用するための機会の提供	学習	17
18	神奈川県	秦野市(たけのこ学級)	たけのこ学級	知的障害者が生涯に渡って学習できる交流学級	学習	18
19	新潟県	早川 淳子	パソコン・ココの会	音声パソコン学習会	学習	19
20	新潟県	点訳・音声訳の会新潟県連合会	点字・録音教材の作成協力活動	加入団体に所属する点訳・音声訳者の養成 視覚障害者団体等が実施する事業への協力 等	学習	20
21	富山県	視覚障害者ITサポートとやま	定例勉強会・特別勉強会	パソコンを使って、レッツコミュニケーション!	学習	21
22	山梨県	竹内 正直(ペンネーム 花里 鬼童)	身体障害者福祉展、障害者文化展、ふれあい創作活動、第13回全国障害者芸術・文化祭等	創造的な喜びを芸術に結びつける	文化	22
23	長野県	松本養護学校同窓会「あすなる会」	同窓会館設立、同窓生を対象とした進路・悩みごと相談等	地域で豊かに生活するために、同窓生を支えます	学習	23
24	岐阜県	毛利 静香	文字でにこにこコミュニケーション	手作り筆談グッズで、いつでもどこでも誰とでも文字でコミュニケーション	学習	24

No.	推薦者	被表彰者の名称 (個人名・団体名)	活動名称	こんな活動です	分野	ページ
<b>【都道府県・指定都市関係】</b>						
25	愛知県	一般社団法人愛知県知的障害児者生活サポート協会	ふれあいアート展	ボーダレスなアートの流れを創る	文化	25
26	大阪府	YYクラブ	YYクラブ	体験活動で人生活力UP	学習	26
27	島根県	公益財団法人 島根県障害者スポーツ協会	障がい者のスポーツ活動の振興	気軽なスポーツ参加で生涯学習!	スポーツ	27
28	岡山県	岡山吉備高原車いすふれあいロードレース大会組織委員会	岡山吉備高原車いすふれあいロードレース大会	車いす選手と一般ランナーが同じフィールドで競いふれあうロードレースです。	スポーツ	28
29	広島県	東雲親の会青年学級	東雲親の会青年学級(東雲親の会の事業)	もっと勉強したい!自分たちで創る学びの場!	学習	29
30	徳島県	徳島市水泳協会	障がい者スポーツ(水泳)の普及	43年にわたって、障がい者の水泳教室を開き、指導に当たってきました	スポーツ	30
31	徳島県	徳島県グランドソフトボールクラブ	徳島県グランドソフトボールクラブ	目指せ!グランドソフトボール全国制覇!!	スポーツ	31
32	香川県	特定非営利活動法人 香川県要約筆記サークルゆうあい	要約筆記者派遣事業及び要約筆記者養成事業、要約筆記の普及啓発事業	健聴者・難聴者の心の架け橋にと「YOU&I」「友・愛」という意味を込めて・・・「ゆうあい」に。『話』を『文字』で伝えよう!要約して伝えよう!	学習	32
33	福岡県	福岡県障がい者スポーツ協会	障がい者スポーツの普及・振興	エンジョイ・スポーツ!	スポーツ	33
34	福岡県	朝倉市手話の会 愛音の会	情報保障(手話通訳・要約筆記)等	いつも笑顔で謙虚に厚かましく、継続は力なり!	学習	34
35	佐賀県	飯盛 清彦	視覚障害のあるマラソンランナー(柳川春己氏)の伴走	夢を追い、共に走る	スポーツ	35
36	長崎県	障がい者長崎打楽団 瑞宝太鼓(社会福祉法人南高愛隣会)	障がい者・夢大使活動、チャレンジ・ドンたいこ講習、粋活き太鼓教室等	①障がい者・夢大使活動 ②チャレンジ・ドンたいこ講習 ③粋活き太鼓教室 ④太鼓フィットネス ⑤瑞宝会クラブ活動	文化	36

No.	推薦者	被表彰者の名称 (個人名・団体名)	活動名称	こんな活動です	分野	ページ
<b>【都道府県・指定都市関係】</b>						
37	大分県	学校法人後藤学園 楊志館高等学校 ボランティア部	楊志館高等学校ボランティア部	障害のある人との交流	学習	37
38	大分県	河津 知子	かわづ寺子屋『ふくろう』	笑顔いっぱい、元気いっぱい 一人ひとりが「ありのまま」でいられる環境で活動	学習	38
39	宮崎県	串間市音声訳ボランティア「カナリヤ会」	視覚障害者への朗読活動	市報を声で伝え！26年で300回超を達成！	学習	39
40	鹿児島県	特定非営利活動法人いぶすきスポーツクラブ	サウンドテーブルテニス	耳を澄ましてボールに集中！	スポーツ	40
41	沖縄県	NPO法人 日本バリアフリーダイビング協会	バリアフリーダイビング	障害者の生涯スポーツ支援として、バリアフリーダイビング体験や大会運営、指導者養成等を実施。	スポーツ	41
42	沖縄県	特定非営利活動法人サポートセンターケントミ	ケントミファミリーによる訪問ライブ活動等	障がい者と健常者とが共になり、音楽を通じた訪問ライブや音楽祭などの交流を行っている。	文化	42
43	札幌市	札幌市特別支援教育研究連絡協議会	レインボーピック、レインボーフェスティバル、札幌特連バスケットボールチーム等	みんな なかよく たくましく！	学習	43
44	仙台市	障害児(者)を守る日実行委員会	みんな仲よし音楽交流会、子どもと市民のつどい運動会、私たちの作品展	「子どもたちに元気と笑顔を！」	学習	44
45	相模原市	中澤 吉裕	車いすテニスサークル「Smile」	車いすテニスを通じて、「笑顔」で自分自身を表現しよう！	スポーツ	45
46	静岡市	「静岡市あおい講座」運営委員会	静岡市あおい講座	よく働き、よく学び、よく遊ぶ	学習	46
47	浜松市	浜松ボッチャ倶楽部COOL	浜松ボッチャ大会の開催等	ボッチャで楽しく自己実現！！	スポーツ	47
48	京都市	一般社団法人 京都手をつなぐ育成会	青年学級(日曜教室、学習会、クラブ活動)	仲間で寄り合い、学び合う	学習	48

No.	推薦者	被表彰者の名称 (個人名・団体名)	活動名称	こんな活動です	分野	ページ
<b>【文部科学省関係】</b>						
49		大同生命保険株式会社	全国障害者スポーツ大会特別協賛企業	四半世紀にわたり、大会に特別協賛するとともに、役職員がボランティアとして参加し、大会の盛上げに協力。	スポーツ	49
50		田島 文博	障害者スポーツにおける医科学サポート	メディカルチェックをすればスポーツは万能薬	スポーツ	50
51	障害者スポーツ ＜公益財団法人 日本障がい者ス ポーツ協会＞	日本車いすツインバスケットボール連盟	文部科学大臣杯争奪 日本車いすツインバスケットボール選手権大会等開催	重度障がい者でもできる、工夫された競技スポーツ	スポーツ	51
52		一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟	内閣総理大臣杯争奪 日本車椅子バスケットボール選手権大会等開催	クラブチーム日本一を決める、国内の車いすバスケットボール競技最高峰の大会	スポーツ	52
53		日本障害者フライングディスク連盟	全日本障害者・高齢者フライングディスク競技大会等開催、全国での指導者養成講習会開催 等	フライングディスクを通して、すべての人に感動を！	スポーツ	53
54		桑原 教彰	「京都府下の認知症他の障害を有する方の才能の発掘支援事業」	誰もが持っている優れた才能を発掘して輝こう！	文化	54
55	障害者文化芸術活動 ＜全国芸術系大学コ ンソーシアム＞	川口 吾妻	『障害児のためのマルチメディア療育支援ソフト』の開発	芸術とICTの力で障害児者を支援	文化	55
56		大手 裕子	「BA+Cプロジェクト」(ボーダレスアート+コミュニケーション プロジェクト)	知的障害のある方の表現活動に学生が関わり、展示や、ワークショップの実施、共働による制作など多様な形の展開を14年にわたり継続して行っています。	文化	56
-	障害者文化芸術活動 ＜2020年東京オリンピック パラリンピックに向けた障害 者の文化芸術活動を推進す る全国ネットワーク＞	障がい者長崎打楽団 瑞宝太鼓 (社会福祉法人南高愛隣会)	障がい者・夢大使活動、チャレンジ・ドンたいこ講習、粋活き太鼓教室等	①障がい者・夢大使活動 ②チャレンジ・ドンたいこ講習 ③粋活き太鼓教室 ④太鼓フィットネス ⑤瑞宝会クラブ活動	文化	36
57	特別支援教育 ＜全国特別支援 教育推進連盟＞	株式会社りそなホールディングス りそなグループRe:Heart倶楽部	全国特別支援学校文化祭	真心込めた手作り表彰式で、めいっぱい楽しんでもらう	文化	57
58		青森県立保健大学「発達保障研究会」サークル	飛び出せ!オープンカレッジin青森	学生と交流を通して、様々なことにチャレンジしよう!	学習	58
59	オープンカレッジ ＜「全国オープン・カ レッジ研究協議会」 の参加大学等＞	オープンカレッジ東京運営委員会	オープンカレッジ東京	日常生活に必要な“考えるわざ”を学ぼう	学習	59
60		大阪府立大学研究推進機構 21世紀科学研究センター 教育福祉研究センター 大阪府立大学オープンカレッジ	大阪府立大学オープンカレッジ	学生主体で運営している知的障害者の通う大学です！	学習	60
61		島根大学 知的に障がいのある人のオープンカレッジin松江実行委員会	知的に障がいのある人のオープンカレッジin松江	知的障がいのある人の教育の機会や発達の可能性を保障する取り組みです。	学習	61

## プロフィール

所在地	北海道岩見沢市
氏名	満田つもる
活動名称	北海道における障害者スポーツに関する指導・普及
こんな活動です	身体障がい者全般にわたるスポーツ指導・普及
連携している団体等	北海道障害者スポーツ指導者協議会、 北海道ポッチャ協会

活動分野	スポーツ
主な対象	身体障がい者及び 障がい者スポーツに関わる指導者

## 活動の説明

①活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和40年5月～56年6月 北海道立身体障害者更生指導所勤務 福祉指導員、機能訓練係長として、入所者の機能訓練や生活指導、処遇についての業務に携わるとともに、身体障害者スポーツの普及に尽力した。</li> <li>・昭和57年4月～61年3月 北海道身体障害者福祉協会勤務（嘱託） 協会のスポーツ、レクリエーション事業の指導業務に従事</li> <li>・昭和62年4月～平成6年3月 北海道障害者スポーツ振興協会勤務 スポーツ指導員として、身体障害者、知的障害者のスポーツ大会、スポーツ教室の企画、実施に携わるなど、道内の障害者スポーツの普及・啓発に努めるとともに、スポーツコーチの資格を活かし、選手の指導・養成並びに地域における指導者の育成等に尽力した。 平成6年3月に協会を退職後も道内に2名しかいないスポーツコーチの技術を活かし、北海道障害者スポーツ振興協会が行う全道スポーツ大会など主要な事業の審判員、研修講師として活躍した。</li> <li>・平成10年から現在 障害者スポーツコーディネーター、日本障害者スポーツ協会公認指導者及び北海道障害者スポーツ指導者協議会会長として現在も活躍している。</li> </ul> <p>&lt;活動歴&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和48年から現在 公認身体障害者スポーツ指導員</li> <li>・昭和62年から現在 公認身体障害者スポーツコーチ</li> <li>・平成10年から現在 障害者スポーツコーディネーター、日本障害者スポーツ協会公認指導者 北海道障害者スポーツ指導者協議会会長、北海道ポッチャ協会会長</li> </ul>
②活動体制	北海道障害者スポーツ指導者協議会会長として、事務局と連携し、北海道全体の指導者養成に務めている。他、北海道ポッチャ協会会長として、重度障がい者の競技育成、普及に務めている。
③活動の効果等	<p>毎年度、北海道障害者スポーツ指導者協議会では、「中級」障がい者スポーツ指導員養成講習を1個所、「初級」障がい者スポーツ指導員養成講習を2～3ヶ所で開催しており、年間100名を超える指導員養成が図られている。</p> <p>また、北海道ポッチャ協会では、今年度で18回を数える全道大会が開催されており、重度障がい者のパラ競技の意識の高揚がされ、スポーツの振興・普及が図られ、加えて道民への障がい者スポーツ理解に大きく貢献している。</p>

## 活動の様子



活動の様子の写真 1



活動の様子の写真 2

## プロフィール

所在地	北海道旭川市	活動分野	文化
団体名	布の絵本のんの	主な対象	図書館に来館する障害児など
活動名称	布の絵本の製作及び製作品の補修	団体の規模（団体の場合のみ）	会員 20 名
こんな活動です	障害児や誰もが楽しめる布の絵本の製作		
連携している団体等	図書館、公益財団法人「ふきのとう文庫」（札幌市）		

## 活動の説明

①活動内容	<p>図書館のボランティアとして主に障害のある子どもを対象とした「布の絵本」の制作及び製作品の補修を定期的実施するとともに、制作した布の絵本を市内の15の図書館・分室の子どもの本のコーナーに設置し、来館者（障害を持つ子どもと保護者など）が館内での読み聞かせや遊びの場面で使用し楽しんでいる。年に1回、中央図書館で特集コーナーに布の絵本を展示し、来館者に布の絵本や制作活動の紹介をしている。また、中央図書館の子どもの本のコーナーに飾ってある木のタペストリーは「布の絵本のんの」の制作で、季節ごとにその時期にあった飾りを付け替えて、一年中楽しめるようになっている。</p>
②活動体制	<p>週1回、中央図書館に集まり、布の絵本の制作、補修を行っている。障害を持つ子どものための本づくりなどを行う公益財団法人「ふきのとう文庫」（札幌市）とも連携した活動をしており、年に1回、講師をお招きして布絵本の制作や活動に対するアドバイスをもらうスキルアップのための研修会を実施したり、布の絵本の制作キットを購入したりしている。</p>
③活動の効果等	<p>手作りのやさしさ、ぬくもりとともに布の持つあたたかさ、やわらかさが相まって利用者にとっても好評で、障害児に限らず多くの親子のふれあいなどに役立っている。</p>

## 活動の様子

	
制作中の布の絵本	布の絵本の制作の様子

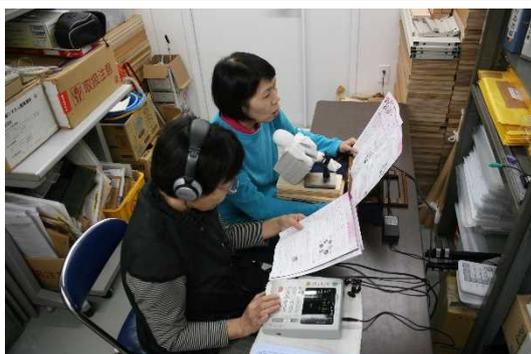
## プロフィール

所在地	青森県十和田市	活動分野	学習
団体名	十和田点訳・朗読奉仕会	主な対象	視覚障害
活動名称	市広報・議会だよりの録音テープ製作及び青森県視覚障害者情報センター依頼の点字・音訳図書製作	団体の規模（団体の場合のみ）	会員 21 名
こんな活動です	見ることが不自由な人のための本づくり		
連携している団体等	中学校、図書館、社会福祉法人、その他		

## 活動の説明

① 活動内容	<p>毎月発行されている市の広報「とわだ」や年4回発行されている議会だよりの朗読をテープに録音し、十和田市民図書館や市内の視覚障害者団体を通して視覚障害者等に提供している。</p> <p>青森県視覚障害者情報センターの依頼により、図書の点訳・音訳をボランティアとして行っており、点字・音訳図書については平成元年から平成28年までに597冊の製作に携わってきた。また、年1回市民を対象とした県内ゆかりの文学作品の朗読会「朗読のひととき」を行っている。</p> <p>視覚障害者に対する理解を深めてもらうことを目的に市内中学校において点訳指導を行うとともに、中途失明者の点字指導もボランティアとして行っている。</p>
② 活動体制	<p>会員の資質向上を図るため、点訳部と朗読部に分かれ、対外活動の他に、定期的に学習会を行い、積極的に活動している。また、青森県視覚障害者情報センターや十和田市社会福祉協議会と連携し情報を共有しながら、障害者の読書活動を中心とした生涯学習に役立つ活動ができるよう努めている。</p>
③ 活動の効果等	<p>定期的に製作している広報の録音テープや点字・音訳図書は、障害者の方から大変好評を得ている。通年の活動の他にも、市内中学校での点訳指導や今年で23回目となる朗読会「朗読のひととき」など、視覚障害に対する理解を深める活動と障害者の生涯学習支援に貢献している。</p>

## 活動の様子



録音風景



朗読のひととき

## プロフィール

所在地	青森県弘前市	活動分野	学習
団体名	ボランティアサークル 虹の会	主な対象	知的
活動名称	知的障がいのある成人の生涯学習スクール 「ピュアフレンズ」	団体の規模（団体の場合のみ）	18名
こんな活動です	障がいに立ち向かい生きがいを求め活動する人たちを 応援します！		
連携している 団体等	特別支援学校、公民館、社会教育関係団体、NPO 法人、 社会福祉法人、行政（教育委員会、保健・福祉部局）		

## 活動の説明

①活動内容	<p>「ピュアフレンズ」は概ね18歳以上の知的障がい者（ピュアフレンズ）に生涯学習機会を提供し、文化的教養の高揚、日常生活環境への適応、障がい者相互の親睦を図ることを目的としている。</p> <p>ボランティアスタッフ（ボランフレンズ）は、毎回異なるテーマで実施する音楽やスポーツ活動、料理教室やモノづくり等のクラブ活動、また、近隣商店で行う買物学習などのプログラムをピュアフレンズとともに実践しながらその活動を支援している。</p> <p>活動内容は、午前全体学習を行い、昼に、決められた金額の範囲内で昼食などを購入。昼食後は、スポーツ、音楽とカラオケ、料理、パソコンの4つのクラブ活動を実施している。活動には、毎回約30人のピュアフレンズと約20人のボランフレンズが参加して賑わい、笑顔があふれている。</p> <p>【全体学習のテーマ】5月：クイズラリー、6月：歌とゲーム、7月：スポーツ&amp;レクリエーション、9月：体よるこぶ料理教室、10月：木エランド、11月：サイエンス・ワールド、12月：ケーキづくりと冬のお楽しみ会、2月：新聞づくり・餅つき。</p>
②活動体制	<p>ボランティアサークル虹の会は、特別支援学校の教員退職者をはじめ、ピュアフレンズの保護者、社会福祉関係機関に所属する方など、有志が集い平成7年に結成された。発足当初から弘前市教育委員会をはじめとする行政機関との緊密な連携・協力体制を築きながら、自主的な運営を心掛け無理をせず、息の長い活動を目指している。</p>
③活動の効果等	<p>知的障がい者の生活環境は主に家庭と入所（通所）する所属施設に限定される傾向にある中で、ピュアフレンズとボランフレンズの相互交流活動が豊かな暮らしを実現する生涯学習活動の実践の場となっている。また、本活動は、障がい者の家族や施設職員にも広く認知され、複数年にわたり継続して参加するピュアフレンズも多くいる。多くの障がい者が生涯学習活動に取り組むことのできる環境が整ったことにより、障がい者に対する理解、支援への取り組みが一層期待されている。</p>

## 活動の様子

	
みんなでクリスマスのケーキづくり	体を動かしながら楽しく歌おう♪

## プロフィール

所在地	岩手県盛岡市	活動分野	文化
団体名	特定非営利活動法人岩手音声訳の会	主な対象	視覚障がい者
活動名称	録音図書製作事業等	団体の規模（団体の場合のみ）	会長1名、副会長2名、理事15名 （一般会員113名、賛助会員11名）
こんな活動です	望まれる録音図書を正確に迅速に！		
連携している団体等	図書館、NPO法人、企業・事業所、行政（教育委員会）、行政（保健・福祉部局、広報・議会部局）、市町村音声訳関係団体、市町村広報部局		

## 活動の説明

①活動内容	<p>○49年間の長きわたり、文学作品の他、歴史書・専門書・雑誌等の幅広いジャンルの書籍の音声訳を行う活動を継続して実施しています。</p> <p>○対面朗読サービス・依頼図書（取扱説明書など）作成・ガイドマップ作成を通して視覚障がい者の情報環境向上に努めるとともに、会員が各市町村で講師として音声訳の講習を行う活動を継続し、各地域の視覚障がい者の情報環境への理解を普及させ、支援活動への参画も促進しています。</p> <p>○正確でわかりやすい録音図書作成のため、月に3つの勉強会を実施し、全国的な研修会にも会員を派遣するなど、調査研究及び会員の資質向上に努めています。</p> <p>【平成28年度活動実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>録音図書製作事業 録音図書及び録音雑誌の製作。デジタル化。 （録音図書製作265タイトル、従事者：会員80名対象者、視覚障がい者約80名）</li> <li>音声訳技術の向上に関する事業 月定例活動、校正者勉強会（従事者：会員112名）</li> <li>録音図書製作に係る調査研究事業 音声版選挙のお知らせ製作研修会・国際シンポジウム・音訳指導技術講習会（出席 会員6名）</li> <li>音声訳の普及啓発事業 北上市、奥州市、花巻市、宮古市、陸前高田市、滝沢市にて講習会実施（14回従事者：会員4名、対象：一般市民約110名）</li> <li>視覚障害者支援事業 「県議会だより」音声版製作（従事者：会員10名、対象者：視覚障がい者約60名） 「いわてグラフ」音声版製作（従事者：会員10名、対象者：視覚障がい者約60名） 「県議会議員選挙のお知らせ」音声版（従事者：会員23名、対象者：視覚障がい者約110名）</li> </ul>
②活動体制	<p>○月1回の定例会及び県内各地の113名の会員が各自宅で活動を行うことにより、多くの書籍・資料の音訳を行っています。</p> <p>○NPO法人として組織的な活動を展開し、会員の研修も充実させています。</p>
③活動の効果等	<p>○書籍・資料の音訳により、多数の視覚障がい者の読書活動・情報環境向上の機会を確保しています。</p> <p>○会員が各市町村で講師として音声訳の講習を行う活動を継続し、地域への普及に貢献しています。</p> <p>○視覚障がい者の読書活動・情報環境への理解及び支援活動への参画を促進しています。</p>

## 活動の様子

		
発声練習と編集の様子		対面朗読の様子

## プロフィール

所在地	宮城県亶理郡亶理町	活動分野	スポーツ
団体名	宮城 MAX	主な対象	肢体不自由
活動名称	車椅子バスケットボール	団体の規模（団体の場合のみ）	選手 19 名、スタッフ 7 名
こんな活動です	車椅子バスケットボール体験教室		
連携している団体等	小学校、中学校、企業・事業所、行政（教育委員会）		

## 活動の説明

①活動内容	<p>○人権教育事業「わたりの協働教育」“人権を考える”「車椅子バスケットをとおして身体障害者の人権を考える」亶理町教育委員会生涯学習課が町内の小学校を対象に人権教育の一環として実施している。 平成17年度より18回（平成29年11月現在）講師として協力している。</p> <p>○サントリー東北サンさんプロジェクト（チャレンジド・スポーツ支援） サントリーホールディングス㈱が東日本大震災の被災地復興支援事業として実施しているサントリー東北サンさんプロジェクト。4つのプロジェクトのひとつでチャレンジド・スポーツ（障がい者スポーツ）の育成・普及を応援する支援のメニューのひとつとして、車椅子バスケットボールの体験教室を開催している。 平成26年9月より12回、講師として協力している。</p> <p>※上記講座の他、県内小中学校より依頼を受け体験教室を開催している。（平成28年度 23回）</p> <p>【体験教室の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子での日常生活の話</li> <li>・車椅子バスケットの説明（バスケットと日常車の違い、ルール等）</li> <li>・選手によるデモンストレーション</li> <li>・バスケット用車椅子の基本操作体験（全員）</li> <li>・選手と参加者のミニゲーム など</li> </ul>
②活動体制	<p>各事業とも主催者より連絡が入り、開催校の要望等を確認し活動に反映させている。 参加者の人数にもよるが、講師として当団体から4～6名協力している。 実施校からの感想等を聞いた県内の小中学校から、直接チームに体験教室を依頼されるケースが増えている。</p>
③活動の効果等	<p>車椅子バスケットボールを通し、障害者と交流を図ることで、障害者を身近に感じ理解するとともに、事故や病気などにより現在の身体になった経緯や、車椅子バスケットと出会いアスリートとして活躍している話などを聞くことで、子どもたちの「生きる力」を育む一助となっている。 また、車椅子バスケットボールの普及にも効果がみられる。</p>

## 活動の様子

	
人権教室 選手と参加者のミニゲーム	人権教室 選手と参加者のミニゲーム

## プロフィール

所在地	秋田県秋田市	活動分野	スポーツ
団体名	NPO 法人 障害者アクアレッシン ミラクルスイミー	主な対象	肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、知的障害その他の障害
活動名称	障害児・者に対する水泳指導	団体の規模（団体の場合のみ）	職員数 17 名、会員数 103 名
こんな活動です	プールを通して健康増進・社会参加！		
連携している団体等	特別支援学校、スポーツ団体、県立プール		

## 活動の説明

①活動内容	<p>1. 障害児・者アクアレッシン事業（マンツーマンレッスン 48 名、グループレッスン 55 名） 障害の種類や程度は個々に異なることから、その一人一人に対応するために 1 回 45 分のマンツーマンレッスンを一定の技術（水慣れから面かぶりクロール）を習得するまで行う。 その次のステップとして、泳法・泳力・体力向上と仲間づくりや社会性を身に付けることを目的として、1 回 60 分のグループレッスンを行う。グループは泳法別または泳力別に分けて、3 人～10 人までの 1 グループとしている。</p> <p>2. 障害児・者アクアレッシン指導者養成事業 障害児・者の種類や特性を学びながらその水泳指導者を養成する事業。水泳指導のノウハウを指導している。</p> <p>3. 障害児・者アクアレッシン指導者派遣事業 特別支援学校や作業所等の障害児者施設の水泳教室等に、インストラクターを派遣して水泳指導を行う事業。総合的な水泳指導から専門的なノウハウの提供までを行う。</p> <p>4. 障害児・者アクアレッシン普及啓発事業 様々な企画・イベントを開催することで、広く障害児・者水泳の普及と啓発を行う事業。特に障害児・者以外の方々に参加していただけるような企画内容で開催している。</p>
②活動体制	<p>理事長 1 名、専務理事 1 名、理事 2 名、監事 2 名、インストラクター 11 名（延べ人数） 月曜から金曜の週 5 日間、午後から夜にかけて秋田県立総合プールで水泳指導を行っている。県立総合プールとは随時打ち合わせをして、必要な施設（例えば仮設の親子更衣室等）を設置していただいたり、練習コースの場所の配慮（プールサイド側のコース）をしていただいたり、協力体制を築いている。 受講生の家族とはメール等での連絡を欠かさず行き情報共有をし、指導内容のこと、レッスン中の様子などについても話し合うようにしている。</p>
③活動の効果等	<p>マンツーマンレッスン、グループレッスンとも泳力が向上し、そのため健康増進にもつながっている。仲間も増え、社会性の向上にもつながり、レッスン中は笑顔一杯のことが多い。 また競泳アスリートの育成も進めており、全国障害者スポーツ大会水泳競技大会や知的障害者水泳大会全国大会などで優勝者も輩出するなど、生涯スポーツ&amp;競技スポーツの両方の充実を今後も推進する。</p>

## 活動の様子

	
マンツーマンレッスンの様子	グループレッスンの様子

## プロフィール

所在地	山形県尾花沢市	活動分野	スポーツ
団体名	尾花沢市身体障害者福祉協会	主な対象	肢体不自由
活動名称	障害者スポーツ・レクリエーション	団体の規模（団体の場合のみ）	会員数 138 名、役員数 13 名
こんな活動です	障がい者スポーツレクリエーションで生き生き元気！		
連携している団体等	社会福祉法人、行政（保健・福祉部局）、尾花沢市母子寡婦福祉連合会		

## 活動の説明

①活動内容	<p>会員及び非会員を対象にスポーツ・レクリエーション活動を実施しています。スポーツ文化に触れる機会を創出し、豊かな生活を送れるよう支援しています。また、山形県身体障がい者レクリエーション大会、山形県障がい者スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会、尾花沢市健康福祉フェスティバル等への協力、参加を行っています。平成 29 年 10 月 28 日から 30 日にかけて、愛媛県にて行われた第 17 回全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技に会員が参加し、優秀な成績を収めました。</p>
②活動体制	<p>役員（体育部長）を中心に障がい者スポーツ・レクリエーション競技・大会への協力を積極的に行い、会員の競技力向上に努めています。</p>
③活動の効果等	<p>活動により身体障がい者のリハビリテーション環境を充実するとともに、生涯学習活動の支援が進められ、障がい者どうしの交流のほか健常者との交流が図られています。地域社会における障壁の大きさから閉じこもりがちな障がい者が多い中で、スポーツ・レクリエーション交流を通じて障がい者が抱える不安や生活課題についても理解を深め合い、生きる力を育み、潤いある人生を過ごすための目標を持つことができます。</p>

## 活動の様子



会員によるフライングディスク競技



会員によるボッチャ競技

## プロフィール

所在地	栃木県塩谷郡高根沢町	活動分野	学習
団体名	熱気球ふれあい事業実行委員会	主な対象	知的障害、その他の障害
活動名称	熱気球ふれあい事業	団体の規模（団体の場合のみ）	実行委員 10名
こんな活動です	障がいのある人も無い人も、みんなで熱気球を楽しもう！		
連携している団体等	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、社会教育関係団体、社会福祉法人、企業・事業所、行政（教育委員会）		

## 活動の説明

①活動内容	<p>自閉症などの発達障がいや知的障がいのある子どもとその家族の余暇支援を目的に始めた活動です。熱気球搭乗という経験を通して、子どもたちの心身の発達を促すとともにボランティアスタッフとの交流を図っています。特に、中学生・高校生ボランティアには、障がいのある子どもと一対一で付き添ってもらい、障がい者に対する理解を高める機会としています。参加ボランティアには一週間前に事前説明会を行い、発達障がいや知的障がいについての講義、接し方や注意点等の説明、ミニ気球作りの練習などを行い、イベント当日へのモチベーションを高めてもらっています。イベントは、毎年2回（7月頃と12月頃）開催し、係留の熱気球搭乗、ミニ気球作り、ミニコンサート、ダンボールクラフト等、様々な体験が出来る場を提供しています。</p>
②活動体制	<p>有志による『熱気球ふれあい事業実行委員会』を組織し、平均月1回の実行委員会を開催して企画立案から事業の実施まで行っています。また、行政や地元企業、NPO等の支援や地元中高校等のボランティア支援も受け、活動体制が広がっています。参加家族の保護者が、参加を重ねるごとにボランティアで参加したり、高校生ボランティアで参加していた人が実行委員になったりと、長年続けたことによる体制への支援効果も出てきています。地元のイベント等へも積極的に参加し、活動のPRも行っています。</p>
③活動の効果等	<p>参加した障がい者の中には、この活動への参加をきっかけとして自らも活動の企画運営に携わる事例もあり、障がい者の自立や社会参加に向けた主体的な取組になっています。そして、参加者は、日頃体験できない活動をすることで、心身のリフレッシュが図られ、今後の活動意欲に繋がっていると思われます。参加家族同士の交流で、日頃の悩みなどの相談をし合う姿も見られます。また、中学生や高校生等のボランティアは子どもたちとともに熱気球搭乗という非日常の体験をすることで、お互いの距離が急速に縮まり、障がいについて深く理解できるようになっています。加えて、地域社会の一員としての自覚や社会とのつながりを肌で感じる場ともなっています。</p>

## 活動の様子

	
ボランティアと熱気球搭乗、思わず手を振りたくなります	みんなでミニ気球を飛ばしています

## プロフィール

所在地	栃木県塩谷郡高根沢町	活動分野	文化
団体名	特定非営利活動法人 次世代たかねざわ	主な対象	知的障害、その他の障害
活動名称	なかよしコンサート	団体の規模（団体の場合のみ）	50名
こんな活動です	みんなバリアフリーで音楽を楽しもう		
連携している団体等	幼稚園、保育所、小学校、中学校、特別支援学校、児童館、図書館、文化芸術を行う団体、行政（教育委員会）、その他（「障害児者生活支援センターすまいる」）		

## 活動の説明

①活動内容	<p>町内の人でも町外の人でも、障がいのある人も障がいのない人も、大人も子どもも、赤ちゃんもお年寄りも、音楽を通じて交流を深めながらみんなで楽しもうという活動です。</p> <p>中心となっている高根沢町児童館「きのこのもり」は、ひとつの建物内に障がい児学童保育・児童館・健常児学童保育の3者が共存するという特徴のある児童福祉施設で、日常的に3者の利用者が自然に交流し、職員たちが協力しあう体制ができています。その中で、年に1回の行事として、音楽による交流の場「なかよしコンサート」を開いてきました。</p> <p>このコンサートでは、障がい児の学童保育「すまいる」と児童館を利用する小学生、学童保育の小学生が音楽ユニット「がくすま」を結成して毎回参加し、歌やダンスを披露しています。</p> <p>その他にも、小中学校の金管バンド部や地域の音楽愛好家の団体等が参加し、お互いに演奏を披露し、交流しています。今年度（平成29年度）で11回目を迎え、参加グループも増えてきています。</p>
②活動体制	<p>NPO法人 次世代たかねざわが管轄・運営する児童館が中心となって実施し、町内外で活動している音楽団体や小中学校、来館者や学童保育利用者、障がい児学童保育利用者に出演の呼びかけを行っています。</p>
③活動の効果等	<p>障がいのある児童や学童クラブの児童、来館児童達が一つの出演グループを作り、練習を重ねていく内に仲良くなって、日常のあいさつや遊びの活動でも交流の声かけが見られるようになりました。また、参加者の間では、「障がいのある児童」という意識も薄れています。</p>

## 活動の様子



「がくすま」によるダンスの披露



ノリノリの障がい児学童「すまいる」メンバー

## プロフィール

所在地	埼玉県さいたま市	活動分野	学習
団体名	埼玉県点訳研究会	主な対象	視覚障害者
活動名称	視覚障害者及び公共図書館、視覚障害者情報提供施設のための点訳奉仕	団体の規模（団体の場合のみ）	122名
こんな活動です	読みたい・知りたい・学びたい視覚障害者のために！		
連携している団体等	図書館、NPO 法人、社会福祉法人、視覚障害者情報提供施設		

## 活動の説明

①活動内容	<p>埼玉県立図書館及び全国の視覚障害者情報提供施設・視覚障害者個人からの依頼による点訳・校正作業。</p> <p>一般的な書籍の点訳だけではなく、逐次刊行物・カルチャースクールなどのテキストの点訳や、国語（古典）・英語・数学・楽譜・六点漢字・情報処理・東洋医学など、特殊な点訳技術を必要とする専門分野の点訳を担う七つの部会を有しているので、専門書・辞書・教科書・参考書・問題集等の依頼にも応じている。また、点訳者の研修の場を保障し、その資質の向上を図るために毎月勉強会（研修会）を開催し、各部会もそれぞれ勉強会を開催している。</p> <p>ホームページを定期的に更新し、視覚障害者からの問い合わせや依頼を受けている。点訳したものは、紙による提供だけではなく、データを「サピエ図書館」に登録することで、全国の視覚障害者や図書館等からのダウンロードも可能になっている。2017年6月21日現在、2780タイトルの点字データを登録。</p>
②活動体制	<p>会員は主に埼玉県内点訳グループに所属するボランティアを中心に組織され、役員のほか、各地域から地区役員を選出し、会を運営している。視覚障害者及び関係機関との連絡のためにコーディネーターを置き、また、点字印刷や「サピエ図書館」への登録・データ保存等を行うために「プリンティングセンター」を設置している。</p>
③活動の効果等	<p>埼玉県内にとどまらず、全国の視覚障害者情報提供施設や視覚障害者からの依頼に対し、広範囲の分野で点訳に応じることができている。</p> <p>今後も点訳・校正技術の向上に努め、読みたい・知りたい・学びたい多くの視覚障害者の支援を続けていきたい。</p>

## 活動の様子

	
埼玉県点訳研究会 33年のあゆみ	点字・点図編集ソフト「エーデル8」勉強会

## プロフィール

所在地	千葉県市川市	活動分野	学習
受賞者名	須和田 日曜大学	主な対象	知的障害
活動名称	日曜大学	団体の規模（団体の場合のみ）	会員数約 150 名、事務局約 10 名 （※毎回）PTA、教職員ボランティア、保護者約 30 名
こんな活動です	サークル活動を通して、みんなで楽しみ語り合おう。		
連携している団体等	特別支援学校、PTA、社会福祉法人、行政（教育委員会）、 （市民部ボランティア・NPO 課）、市民ボランティア、元教職員		

## 活動の説明

①活動内容	<p>昭和32年に設立した市川市立養護学校（現 市川市立須和田の丘支援学校）では、昭和50年に青年学級を開級し、後に日曜大学と名称を改め、今年で42年目を迎える。</p> <p>市川市立須和田の丘支援学校（高等部）の卒業生を中心とし、卒業後の長い生活を豊かに過ごすことを目的としている。午前中に、ソフトボールや卓球、ポッチャ、調理、手芸、カラオケなどのサークル活動を通して、友だちやボランティアとの交流を図り、昼にサークル活動が終わると、全員が集まり、軽食をとりながら参加者同士で思い出話に花を咲かせるなど、和やかな時間を過ごしている。</p> <p>毎回のサークル活動には、約30～40名程度の会員が参加している。下は18歳から上は60歳まで幅広い参加者が集まっており、年齢に関係なく楽しく活動に参加している。入会にあたっては、毎年卒業生に参加の案内を出している。</p> <p>通常のサークル活動の他には、クリスマス会や成人を祝う会等も行っている。特に成人を祝う会は、在学中に関わった教職員や関係者も出席する一大行事である。保護者が子育て談を、成人を迎えた卒業生が近況報告や将来の夢などを語り合うなど、その成長した姿に一同が感動を共有し、人生の節目を祝う大切な会となっている。</p>
②活動体制	<p>毎月1回（主に第1又は第3日曜日）12：30時まで活動。※年に10回程度。</p> <p>参加者は、当日に好きなサークル活動を選んで活動する。支援者として、保護者、学校関係者、市民ボランティアなどが協力している。</p> <p>卒業後2年目の保護者を中心として役員が引き継がれ、事務局として、学校の職員が計画や当日の運営、準備に協力をする。</p>
③活動の効果等	<p>学校卒業後も、自身の趣味や特技を活かしながら、生涯にわたり余暇を楽しむことができる。また、友だち同士の親睦を深め合い、互いの近況報告や相談事など情報交換ができる。</p> <p>参加する教職員やボランティアにとっても、卒業後も生徒との交流を継続でき、就労先での様子を知ることができる。また、保護者との情報交換の場ともなっている。</p> <p>本活動の周知方法としては、手をつなぐ親の会等の広報紙にて紹介。また、いちかわボランティア団体として登録し、Webにて活動の紹介、ボランティアの募集などを行っている。</p>

## 活動の様子



クリスマス会の様子



サークル活動（卓球）の様子

## プロフィール

所在地	千葉県浦安市	活動分野	学習
団体名	浦安市堀江公民館	主な対象	就労している知的障害者
活動名称	きぼう青年学級	団体の規模（団体の場合のみ）	職員 5 名、スタッフ 16 名、 学級生 30 名
こんな活動です	ノーマライゼーションの理念に基づき、就労する知的障がい者の余暇支援、地域交流事業の実施支援、社会的自立支援などを目的として、ボランティアスタッフの協力のもと、地域に根差した公民館事業として開催しております。		
連携している団体等	社会福祉協議会など		

## 活動の説明

①活動内容	<p>知的障がい者の休日の過ごし方を「①より良い社会生活をおくるためのマナーやルールを身につける。②学級生相互の親睦と互いに励まし合いながらより豊かな人間関係を育む。③いろいろな経験・活動を通じた日々の生活のリフレッシュをする。」の3つの目的として掲げ、昭和59年から実施している。学習主題として、就労する知的障がい者の社会的自立を支援すること。日常生活に必要な常識を身につける等の自立性を伸ばすことを目的としている。事業実施回数は年12回（月1回第3日曜日）</p> <p>「きぼう青年学級」は、就労している知的障がい者を対象とした余暇支援、地域交流事業の実施支援、社会的自立等を目的として、地域に根差した公民館事業として開催している。具体的な内容は調理実習、館外学習、レクリエーション、初詣、クリスマス会等の活動を実施している。</p>
②活動体制	<p>平成29年度の体制は学級生が30名、ボランティアスタッフは16名、職員5名となっており、ボランティアは有償で地域住民が中心で、他には福祉関係の大学生や社会人、教員経験者などで構成されている。1つの班に学級生6~7人。バスや電車を利用しての館外研修の場合は2班ずつの2グループ体制で活動している。1グループの引率には職員とスタッフが6人程度で進めている。</p>
③活動の効果等	<p>就労する知的障がい者の社会的自立を支援、日常生活に必要な常識を身につける等の自立性を伸ばす支援をボランティアスタッフの協力のもと行うことができた。</p> <p>平成25年度には30周年を迎え、平成26年度には記念祝賀会と記念誌の発行をした。</p> <p>「きぼう青年学級」の取組がきっかけに「きぼうよさこいクラブ」が誕生し、障がいの有無を越えて、よさこい踊りを楽しむ交流の場となった。</p>

## 活動の様子

	
クリスマス会	輝貌チームよさこい

## プロフィール

所在地	神奈川県横浜市
氏名	遠藤 美枝子
活動名称	視覚障害者等に対する音訳活動 対面音訳や録音音訳に携わる音訳者の育成
こんな活動です	視覚障害者のための音訳活動、音訳活動の支え手である音訳者の育成を通して視覚障害者の生涯学習を支援
連携している団体等	東京都立中央図書館

活動分野	学習
主な対象	視覚障害

## 活動の説明

①活動内容	<p>約50年前の大学在学時に朗読者としての活動を開始した。</p> <p>昭和48年1月、都立中央図書館開館に当たり、「音訳者」として、視覚障害者の読書要求（専門書、学術書などをもっと読みたい、知りたい、学びたい）に応えるべく音訳活動を行った。</p> <p>平成10年以降今日まで、都立中央図書館において音訳者講習会の講師を始め、大田区、北区、江東区、品川区、渋谷区、新宿区、墨田区、豊島区、港区、目黒区、国立市、国分寺市、多摩市、西東京市、東久留米市、武蔵野市、横浜市、静岡県、新潟県、の各自治体においても、音訳講習会の講師を務めた。（平成28年度には、年間62回実施）</p> <p>都立中央図書館において、音訳活動を44年間継続している。また、居住する神奈川県横浜市においては横浜市立中央図書館の音訳者として活動した。</p>
②活動体制	<p>① 都立中央図書館を拠点とした録音図書作成等の活動（週1回）。居住地域における音訳活動</p> <p>② 都立図書館における音訳者講習会の講師及び他の自治体からの招きに応じた音訳者養成講座等の講師（年62回実施）</p>
③活動の効果等	<p>① 都立中央図書館が収蔵する約2,300点のデジタイズ図書のうち、遠藤氏の音訳であることを確認できるデジタイズ図書だけで91点を数える。医学書の音訳では、1点の録音時間が60時間に及ぶものもあり、視覚障害者等が生涯を通じて学習を継続していく上での大きな支援となっている。</p> <p>② 全国の自治体における音訳指導に関する講師実績により、全国各地の自治体の音訳サービスの質の向上に貢献している。</p> <p>③ 専門書を中心とした音訳図書の製作を行うことにより、視覚障害者等の幅広い読書要求に応えている。また、その音訳技術の高さは視覚障害者への確かな読書支援となっている。</p> <p>④ 都立図書館における研修指導の実績により、都立図書館の音訳者においても、遠藤氏のような高いレベルの音訳者に対する指導・育成能力を有する後継者が現れてきている。</p>

## 活動の様子

	
対面音訳	音訳講習会

## プロフィール

所在地	東京都文京区	活動分野	スポーツ
団体名	特定非営利活動法人 えこお	主な対象	区内在住・在勤の高校生以上の知的障害者
活動名称	スポ・レクひろば	団体の規模（団体の場合のみ）	会員数 32 名
こんな活動です	知的障害者を対象としたスポーツ・レクリエーション活動		
連携している団体等	特別支援学校、スポーツ団体、企業・事業所、行政		

## 活動の説明

①活動内容	<p>スポ・レクひろばは、区内に在住、在勤している高校生以上の知的障害者を対象に、季節の行事も取り入れながら、原則として月1回、スポーツを中心とした各種レクリエーションを実施している。</p> <p>参加者は、体動かしが苦手な方たちが多いので、一人一人の個性や当日の体調に合わせ、無理はせず、みんなが楽しめる体操、ダンス、大玉転がしやボウリングピン倒し、フライングディスクなどの活動を中心に実施（写真①）。年に1回開催している城北地区（北区、台東区、荒川区、文京区）4区合同レクリエーション大会では、参加者同士が交流を深めながら、大会の目標や実施種目などを選択して企画・実施している（写真②）。</p> <p>ふだんはなかなかできない体験の幅を拡げながら、夏にはプール、秋は郊外へのバスハイク、冬にはクリスマス会や餅つき大会など季節に合わせた行事を行い、親睦を図っている。</p> <p>本活動が、参加者にとって、安心できる、安全な、楽しい居場所づくりとなることよう、参加者もスタッフもお互いの顔が皆わかる関係づくりを心がけ、活動している。コミュニケーションのとりにくい彼らの特性を肌で感じ、地域でともに生きていることを知るきっかけづくりとなるため、地域のボランティアの方々にも積極的に協力の声掛けをし、参加者と一緒になって楽しめる活動を行っている。</p> <p>現在、参加者は52名。</p>
②活動体制	団体スタッフの他、区スポーツ推進委員会、区内企業、区スポーツボランティア、障害児スポーツ指導員等の協力により実施
③活動の効果等	NPO法人「えこお」は、地域の子供と大人が共に楽しみ・感動を共有できる場作りとしての文化、芸術活動を行うことを通して、障害により支援を必要とする人たちの余暇支援・学習支援活動を展開している。これらの活動は、文京区内の青少年育成事業及び社会福祉事業等にも貢献している。知的障害者が楽しみながら体を動かすことを目指した本事業への参加により、参加者と地域の人たちとのつながり、顔の見える関係ができています。

## 活動の様子

	
ボウリングやフライングディスクなど、運営も自分たちで	1年に1回他区との交流も（北区・台東区・荒川区と）

## プロフィール

所在地	東京都町田市
氏名	市川 健一
活動名称	障がい児スポーツ教室
こんな活動です	学齢から18歳以下の障がいのある子供等の余暇活動を支援する教室
連携している団体等	行政（保健・福祉部局）

活動分野	スポーツ
主な対象	学齢から18歳以下の障がいのある子供等

## 活動の説明

①活動内容	<p>原則として、毎週、土曜日の午後に体育館とプールの2箇所で開催</p> <p>○ 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館（市立） ウォーキング・ランニング、巧技台、トランポリン、マット運動、バスケットボール、バレーボール、なわとび等を1時間半程度実施</li> <li>・プール（市立） 水泳の練習及び水遊び等を1時間半程度実施</li> </ul>
②活動体制	<p>○ 参加者 149名（平成29年7月10日現在）体育館91名、プール58名</p> <p>○ 指導員 有償ボランティア指導員55名程度。教室の企画・運営・指導を行う。</p> <p>○ 親の会 参加者の保護者。教室運営に協力する。</p>
③活動の効果等	<p>○ 「障がい児スポーツ教室」は、参加者の生活リズム作り、健康作り、仲間作り、生きがいの場作りと社会性の向上に寄与している。</p> <p>○ 市立施設を会場として実施することで、地域の人々の障害及び障害者理解の促進に寄与している。</p> <p>○ 「障がい児スポーツ教室」の開催が、地域の福祉事業所におけるスポーツプログラムの拡大に繋がっている。</p> <p>○ 「障がい児スポーツ教室」は、高校生、大学生、市民等のボランティア養成の活動拠点となっている。</p> <p>○ 「障がい児スポーツ教室」は、参加者の保護者同士の情報交換等の場となっている。</p> <p>○ 学齢期から成人期という長いライフステージにおいて、スポーツのある生活の在り方を考えていくことが今後も必要だと考えている。</p>

## 活動の様子



体育館での活動の様子



プールでの活動の様子

## プロフィール

所在地	千葉県船橋市
氏名	松本 芳信
活動名称	すみだ教室
こんな活動です	義務教育終了後の知的障害者が、社会生活のルールやエチケット、仕事に対する心構えを学ぶとともに、スポーツ・文化活動等をととした仲間づくり、余暇を有効に利用するための機会の提供
連携している団体等	スポーツ団体、行政（教育委員会）、地域活動団体（横貳睦）

活動分野
学習
主な対象
義務教育終了後の知的障害者

## 活動の説明

①活動内容	<p>【すみだ教室の概要】</p> <p>義務教育終了後の知的障害者が社会生活のルールやエチケット・仕事をする時の心構え等を学び、スポーツ・文化活動等を通じた仲間作り、余暇の有効利用の場となることを目指し、開設された。</p> <p>主な活動には、班活動（物づくり等）・クラブ活動（スポーツ、音楽、お花、パソコン、クッキング、絵手紙、カラオケ）や、社会見学、宿泊研修（1泊2日）、他区との合同レクリエーション大会、もちつき会、忘年会、新年会等があり、年19回活動している。</p> <p>【すみだ教室における活動】</p> <p>第7回すみだ教室（昭和45年度）から、平成11年から平成14年の3年間を除く43年間、本事業に携わる。平成18年からは、教室の管理責任者として、①宿泊研修や地域でのもちつき会等行事における明確な目標設定、②各部の活動の取りまとめ、③班長会（各部の受講生班長と開会式・閉校式・宿泊研修の進行等についての話し合い）を援助・統率、④受講生が使用するオリジナルテキストの「社会生活のルールやエチケットを学ぶための心構え」の執筆担当を行う。</p> <p>活動日以外にも、新規ボランティアや受講生の面接、宿泊研修の実地踏査、行政・各部の主任講師との次年度の活動計画作り等を行っている。</p>
②活動体制	<p>○ 受講生：年齢により、青年部（19歳から34歳）：2班、成人部（35歳から44歳）：3班、壮年部（45歳以上）：4班</p> <p>○ 講師（平成29年6月1日現在）：各班に2名配置。講師15名、ボランティア18名が活動を支援</p>
③活動の効果等	<p>すみだ教室以外の民間スポーツクラブを受講する人や、自炊に取り組む人など、すみだ教室への参加が他機関での生涯学習のきっかけや生活自立の一助となっている。また、すみだ教室設立時から通い続けている受講生も複数あり、すみだ教室は、地域の障害者の生涯学習機会として位置づいている。</p>

## 活動の様子



四区青年学級連合レクリエーション大会の様子



宿泊研修の様子

## プロフィール

所在地	神奈川県秦野市	活動分野	学習
団体名	秦野市（たけのこ学級）	主な対象	知的障害者
活動名称	たけのこ学級	団体の規模（団体の場合のみ）	秦野市生涯学習文化振興課員及び障害福祉課から2名、保護者会36名、個人ボランティア11名、団体ボランティア2団体
こんな活動です	知的障害者が生涯に渡って学習できる交流学級		
連携している団体等	中学校、公民館、大学のボランティアサークル、福祉団体（ボランティア参加）		

## 活動の説明

①活動内容	<p>平成2年に活動を開始し、今年で28年目を迎えます。</p> <p>毎月第3日曜日（8月を除く）に、ボランティア指導者のもと、「スポーツ」「音楽」「手工芸」の3グループにわかれて行うグループ活動を中心に活動しています。</p> <p>「スポーツ」グループではキックベースを簡易化したゲームを行っており、試合を重ねるごとに作戦が立てられるなど、白熱したゲームが展開されています。</p> <p>「音楽」グループでは、手話を学びながら合唱をしたり、一人ずつ好きな曲を舞台上で発表したりしています。発表者以外は曲に合わせてタンバリンなどの楽器でリズムを取り、グループのメンバーみんなで発表者を盛り上げています。</p> <p>「手工芸」グループでは、牛乳パックでの小物入れ作りや、草木染め、クリスマス時期には木の実でのクリスマスツリー作りなど、毎回異なる作品を作成しています。学級生（知的障害者）は作品作りに集中し、思いおもいに仕上げています。</p> <p>グループ活動後は、全員が集まる前で、学級生自らグループごとに成果を発表しています。</p> <p>また、毎年11月には市内中学校において交流会を実施しています。生徒と学級生が一緒になって、合唱やジャンケン列車ゲーム、学級で毎回行っているマイムマイムを歌って踊るなど、楽しく過ごすとともに、相互に理解を深める機会としています。</p> <p>その他、七夕飾り作り、野外活動、クリスマス会、書き初め大会、運動会、料理を学級生とともに作るお楽しみ会など、季節に合わせたイベントを行っています。</p> <p>学級生からは、「楽しかった」「来月もまた来るね」などの声が聞かれ、学級活動に期待感を持つとともに、充実感を得ている様子が見られます。</p>
②活動体制	秦野市生涯学習文化振興課及び障害福祉課が合同で企画、運営し、ボランティアや保護者会等との協働により活動しています。
③活動の効果等	<p>学級活動の中では、学級生にリーダーシップが芽生えたり、物事に対する積極性が増していたりする様子が見られます。</p> <p>主な活動場所としている本町公民館では、学級の活動で作った七夕飾りや書き初めを館内に展示し、来館者へ活動を紹介している他、中学校交流会での紹介や、「秦野市社会福祉大会」において成果の展示などを行うことで、知的障害者への理解を深めてもらう契機としています。</p> <p>今後も知的障害者が生涯に渡り学習できる場として、たけのこ学級を開催していきます。</p>

## 活動の様子

	
グループ活動（音楽）	新春恒例の書き初め大会

## プロフィール

所在地	新潟県長岡市
氏名	早川 淳子
活動名称	パソコン・ココの会
こんな活動です	音声パソコン学習会
連携している団体等	社会福祉法人、行政（保健・福祉部局）

活動分野	学習
主な対象	視覚障害者

## 活動の説明

①活動内容	<p>パソコン・ココの会は視覚障害者がIT情報社会に遅れないようにと、平成11年に立ち上げられ学習活動を始めました。</p> <p>現在、毎月第1、第3日曜日に、毎回、視覚障害者10名ほどが集い音声ソフトによるパソコン操作をマンツーマンで学習しています。学習の都度、一人ひとり習いたいことや疑問、パソコンのOS、インストールされている状態を確認し合っています。学習時間に制限はありません。年間、延べ約200名に及んでいます。</p>
②活動体制	<p>長岡市や市社会福祉協議会、地元医療機関、企業、市民からパソコンや音声ソフトの寄贈、当活動についての広報、会場の提供など支援を受けています。</p> <p>ボランティア体制は、会長（視覚障害者）の下、事務局長ほか4名です。</p>
③活動の効果等	<p>最初は文字だけの入力でしたが、メールはもちろんインターネットを使って情報を得るほか視覚障害者の専用図書館HPから本を音声リクエストし、デジータで聴くことができるようになっています。</p> <p>学習後は、自立と社会参加が促進され日常生活の豊かさが増し喜ばれています。</p> <p>受講者の感想 「パソコンは自分には関係ないと思っていたが、文字を使ってメールのやり取りができるようになり本当にうれしい」 女性（62）</p>

## 活動の様子



社協たよりのご案内に掲載



社協ボラ室にて学習会

## プロフィール

所在地	新潟県新潟市	活動分野	学習
団体名	点訳・音声訳の会新潟県連合会	主な対象	視覚障害
活動名称	点字・録音教材の作成協力活動	団体の規模（団体の場合のみ）	会員 812 名
こんな活動です	加入団体に所属する点訳・音声訳者の養成 視覚障害者団体等が実施する事業への協力 等		
連携している 団体等	社会福祉法人		

## 活動の説明

①活動内容	<p>新潟県内の視覚障害者（約 5,800 人）が学習に用いる点字・録音教材の作成協力活動をおこなっている。これまでに作成した教材は参考書、試験問題集から実用書まで多岐にわたり、幼児から高齢者まで幅広い年代に提供している。</p> <p>また、点訳・音声訳それぞれで会員同士の研修会がおこなわれているほか、全国団体が実施する指導員講習会に会員を派遣するなど、技術・意識の向上に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【これまでの資料提供実績】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>点訳資料 『合格でる順（社会・英語・国語）』『鍼灸医学大辞典』『ポケット六法平成 28 年度版』『小学 1 年生が習う漢字と書き順』 ほか多数</li> <li>音声訳資料 『視覚障害者のための ipad 体験会資料』『盲学校高等部専攻科理療科入学学力試験（過去問題）』『都市ガス工業概要（供給編）』 ほか多数</li> <li>その他の形態の資料 テキストデータ 『社会福祉士国家試験のためのレビューブック 2017』 ほか多数</li> </ol>
②活動体制	<p>県内各地域の点訳 21 団体・音声訳 26 団体で活動している。内容に応じて分担するなど、団体相互に協力し、質の高い学習教材の提供に努めている。</p>
③活動の効果等	<p>高等学校、大学受験のほか、各種試験での合格者を出している。連合会加入団体で相互協力を行うことで、ボランティア空白地域に在住する視覚障害者への支援を可能とし、地域格差を最小限に抑えることができる。</p> <p>今後もより多くの方の希望に沿った支援ができるよう、学習教材作成に必要な知識や技術の取得に努めていきたい。</p>

## プロフィール

所在地	富山県富山市	活動分野	学習
団体名	視覚障害者 IT サポートとやま	主な対象	視覚障害者・晴眼者
活動名称	定例勉強会・特別勉強会	団体の規模（団体の場合のみ）	93名
こんな活動です	パソコンを使って、レッツコミュニケーション！		
連携している団体等	各種学校、社会教育団体、病院、県眼科医会、盲導犬協会、地方公共団体、公民館、県視覚障害者協会、県視能訓練士会 他		

## 活動の説明

①活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声ソフトを利用したパソコンの設定や操作、その他情報機器操作等の支援活動を通して、視覚障害者の情報バリアフリーと社会参加・自立のための支援活動を実施している。外出が難しい方へは在宅サポートを実施している。</li> <li>月1回の定例勉強会、特別勉強会、サポーター研修会を実施している。</li> <li>月2回の点字触読会を実施し、日常生活でつかえる点字の習得をめざしている。</li> <li>年3回、県内各地で視覚障害者向け生活便利グッズ展示会を実施し、併せて体験コーナー、相談コーナーを設けて、視覚障害者への支援活動を行っている。</li> <li>地域の方々を対象に、視覚障害者への支援推進に向けた啓発活動を実施している。</li> <li>各種学校、社会教育団体、病院、県眼科医会、盲導犬協会、地方公共団体をはじめ、県視覚障害者協会や視覚障害者ケアネットワークとやま、県スマートサイト推進委員会など関連団体と連携し、サービス向上に取り組んでいる。</li> </ul>
②活動体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表1名、副代表1名、事務局長1名、運営委員15名（会計1名を含む）、会計監査1名を含む、会員93名体制で勉強会、触読会等を実施している。視覚障害者、晴眼者の割合はおおよそ半々である。</li> <li>晴眼者がサポーター研修会等で学習し、学んだことをもとに定例勉強会で視覚障害者とともに学習活動を行う。</li> </ul>
③活動の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障害者のインターネットを利用した情報収集や多くの方とのコミュニケーションづくりは、生活への前向きな姿勢づくりと心のリハビリになっている。</li> <li>勉強会をはじめ様々な行事等へ参加する機会が増え、視覚障害者の社会参加への意欲が高まっている。</li> <li>便利グッズ展示会などにより、地域の方々の視覚障害者への理解が深まっている。</li> </ul>

## 活動の様子



地区文化祭での多くの方々に活動紹介 盲導犬も参加



定例勉強会でペアになり学習中

## プロフィール

所在地	山梨県南巨摩郡富士川町
氏名	竹内 正直 (ペンネーム 花里 鬼童)
活動名称	身体障害者福祉展、障害者文化展、ふれあい創作活動、第13回全国障害者芸術・文化祭等
こんな活動です	創造的な喜びを芸術に結びつける
連携している団体等	文化芸術活動を行う団体、社会福祉法人

活動分野	文化
主な対象	身体・知的・精神

## 活動の説明

①活動内容	<p>竹内氏は身体に障害がありながらも、闘病生活を通じて感じた命の大切さを伝えるため、詩作に精力的に取り組み、花里鬼童として7冊の詩集を執筆している。また、闘病生活や詩作を通して自らと同じく障害がある人々に自己表現の機会を与えたいとの思いを持ち、山梨県身体障害者連合福祉会の一員として知事に働きかけ、「身体障害者福祉展（1969年）」の開催を実現させた。これは身体・知的・精神といった障害の枠を越えた出展者による「障害者文化展」として現在まで続いており、創作活動による障害者の社会参加・自己実現の場となっている。</p> <p>更に、外出の機会が得づらい在宅障害者に芸術文化活動の機会を提供する「ふれあい創作活動（1998年～）」では竹内氏自らが指導者として出向き、在宅障害者が生涯にわたって芸術文化活動に親しむための支援を精力的に行ってきた。</p> <p>この他にも平成25年度に本県で開催した「第13回全国障害者芸術文化祭やまなし大会」の誘致活動とともに大会実行委員会の副会長として尽力し、大会を成功に導いた。また、この大会を一過性のものにしないために「山梨県障害者芸術・文化祭」の創設を知事に要望し開催を実現させ、今年度で4回目の開催になるなど、障害者の自己表現の場として定着しつつある。</p>
②活動体制	<p>県や市町村、障害者福祉施設等、県内の障害福祉関係者と連携を取り、活動を行っている。ふれあい創作活動の指導者養成においては、自ら講演を行うなど、自身の経験や知識を後世に伝えている。</p>
③活動の効果等	<p>指導者として永年にわたる地道な取り組みにより、外出が難しい重度の障害者が作品等を出展できる環境を作り、生涯学習への意識高揚を図ることができた。活動は在宅・施設入所の枠を超え全県下に普及し、才能を有しながらも世に出るチャンスがなかった者の紹介にも積極的に取り組んでいる。</p>

## 活動の様子



ふれあい創作活動指導者研修で講演する竹内氏



障害者文化展の審査会にてあいさつする竹内氏

## プロフィール

所在地	長野県松本市	活動分野	学習
団体名	松本養護学校同窓会「あすなろ会」	主な対象	知的障がい
活動名称	同窓会館設立、同窓生を対象とした進路・悩みごと相談等	団体の規模（団体の場合のみ）	事務局（常任理事）9名、 会員数 668名
こんな活動です	地域で豊かに生活するために、同窓生を支えます		
連携している団体等	特別支援学校、PTA、NPO法人、社会福祉法人、行政（保健・福祉部局）		

## 活動の説明

①活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓会館設立（平成7年）</li> <li>・同窓会館内にレスパイトサービスを行う「療育支援センターあいむ」を設置（平成13年）</li> <li>・同窓会館西側に共同作業所（現NPO法人就労支援センター）ホープを建設（平成15年）</li> <li>・同窓会館内に在校生の放課後等の余暇活動を支援する「まつようクラブ」を設立（平成20年）</li> </ul> <p>その他、以下の取組を継続して実施</p> <p>同窓生を対象とした進路、悩み事相談 「同窓会だより」の発行（年2回） 「同窓生のつどい」開催（年1回 200名以上の参加） 日帰りバス旅行（時に1泊2日旅行、2泊3日旅行も。年間で100名参加） 余暇活動事業（フライングディスク、ボウリング、フロアホッケー、旅行、ダンス、カラオケ同好会）</p>
②活動体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓会役員組織：会長1名 副会長3名 理事若干名、監事2名 顧問若干名。</li> <li>・余暇活動指導員を、同窓生家族や元学校職員、地域ボランティアに依頼。</li> <li>・学校、PTAとの連携強化のために、同窓会役員に多くの学校職員、PTA役員を指名。</li> <li>・松本市手をつなぐ育成会とともに松本市との懇談会を毎年実施。</li> </ul>
③活動の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成7年に同校敷地横に同窓会館設立以降、20年以上に渡り継続して在校生と同窓生への支援を実施しており、地域の障害者支援施設の中心となっている。特に余暇活動事業は、卒業生にとって社会参加のきっかけの一つとして位置づいており、楽しいイベントになっている。</li> </ul>

## 活動の様子

	
平成29年度 同窓生の集い アトラクション	平成29年度 日帰りバス旅行 戸隠そば打ち体験

## プロフィール

所在地	岐阜県羽島郡笠松町	活動分野	
氏名	毛利 静香	学習	
活動名称	文字でにこにこコミュニケーション	主な対象	
こんな活動です	手作り筆談グッズで、いつでもどこでも誰とでも文字でコミュニケーション	聴覚障害	
連携している団体等	NPO 法人		

## 活動の説明

①活動内容	<p>筆談グッズ「にこにこコミグッズ」は、カバンの中に入れて持ち歩けるコンパクト・サイズで、材料も百円均一ショップで手に入る安価なもので手作りしています。</p> <p>筆談グッズを無償もしくは材料費だけで広く配布することにより、誰もが、いつでも、どこでも、聴覚に障がいのある方々と、簡易に文字でコミュニケーションをとることができます。</p> <p>コミュニケーションを簡易にすることで、高齢による難聴や聴覚に障がいのある方々が、より広く学びの機会に出会えるよう応援しています。</p>
②活動体制	<p>「(特非)ぎふ難聴者協会」及び「(特非)ぎふ要約筆記かがり火」の行事やイベント、関連催事等において配布しています。</p>
③活動の効果等	<p>県内外問わず、また、聴覚に障がいのある方だけでなく、広く配布することで、高齢者の難聴や聴覚障害者の特性と文字でのコミュニケーションへの理解を広めています。</p> <p>近年、障がい福祉の面からだけでなく、人権の関係でも広まりつつあります。</p>

## 活動の様子

	
<p>ホワイトボードに書いて知らせたりメモ用紙に記録して渡したりします。</p>	<p>にこにこコミグッズの中に入っている物</p>

## プロフィール

所在地	愛知県豊橋市	活動分野	文化
団体名	一般社団法人愛知県知的障害児者生活サポート協会	主な対象	知的障害、発達障害
活動名称	ふれあいアート展	団体の規模（団体の場合のみ）	会員 5,589 名（知的障害者、保護者、後見人）
こんな活動です	ボーダレスなアートの流れを創る		
連携している団体等	NPO 法人、文化芸術活動を行う団体、社会福祉法人、企業・事業所、行政（保健・福祉部局）		

## 活動の説明

①活動内容	<p>平成 20 年度より、会員からアート作品を公募し展示する「ふれあいアート展」を名古屋市内で開催している（平成 29 年度からは、対象を非会員にも拡大）。開始当初から一貫して 200 点前後の作品応募があり、作品のレベルも年々上がっている。公募作品のうち優秀作品には、会期初日の表彰式で「ふれあいアート展大賞」を始め各賞が贈られる。また、会期中には、障害のある人の芸術に関連するトークイベントも開催。</p> <p>平成 22 年度からは、愛知県知的障害者福祉協会と連携して、東三河地域で「ぼくらのアート展」を開催。公募作品とあわせ「ふれあいアート展」の入選作品を展示しており、県内 2 カ所で年 2 回の公募作品展を継続開催している。</p> <p>「ふれあいアート展」は、同協会の各県支部からも注目されており、今年は新たな試みとして、「ふれあいアート展」の入選作品を福井県の協会が主催の作品展に出展する。また、「ふれあいアート展」の経験や知見をいかして、同協会では、愛知県主催の「あいちアール・ブリュット展」（障害のある人の公募作品展）や、平成 28 年に開催された「第 16 回全国障害者芸術・文化祭あいち大会」の運営に参画。さらに、愛知県におけるアートを活用した雇用の取組においても、中心的な役割を担っている。</p>
②活動体制	<p>同協会の文化活動委員会を中心に運営。事務局となる障害者支援施設では、造形活動専任の職員を配置し、アート活動に取り組んでいる。企画運営のアドバイザーや審査員として、芸術の専門家や NPO 法人が参画し、後援（各賞の授与）や広報で、行政、企業等とも連携している。</p>
③活動の効果等	<p>作品の出展・展示が、障害のある人にとって日々の活動の励み、生きがいや自信となるとともに、来場者に作品をご覧いただくことで、障害への理解の促進にもつながる。作品制作、作品展を通して、障害の有無を超えた交流、社会づくりの一助となっている。10 年にわたる「ふれあいアート展」の積み重ねは、愛知県における障害のある人のアート活動の広がり基礎となっただけでなく、就労支援など、福祉や芸術文化の枠を超えて広がっている。</p>

## 活動の様子

	
展示会場の様子	表彰式の様子

## プロフィール

所在地	大阪府八尾市	活動分野	学習
団体名	ＹＹクラブ	主な対象	知的障害
活動名称	ＹＹクラブ	団体の規模（団体の場合のみ）	50名「事務局8名、会員（メンバー）42名」
こんな活動です	体験活動で人生活力UP		
連携している団体等	府立八尾支援学校、八尾市ボランティア協会		

## 活動の説明

① 活動内容	<p>&lt;活動開始の理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 府立養護学校（現支援学校）教員として勤務していた現ＹＹクラブ代表が、知的障がい者の余暇活動が極めて限られたものであることを知り、改善できないものかと考え、平成元年、京都教育大学に内地留学した際に、養護学校卒業生や在校生を対象に余暇活動に関するアンケート調査を行った。調査・研究した知的障がい者の余暇活動の実態について、平成2年9月の日本特殊教育学会第28回大会で発表し、その研究成果をもとに、平成2年から活動を開始して、本年で28年目となる。</li> <li>・ 活動開始当初は、月2、3回の活動から始め、1回は養護学校を会場とし、他は、地域の施設（市民プール、キャンプ場、公園、博物館、ボウリング場、他）を活用していた。</li> </ul> <p>&lt;現在&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援者の力を借りずに、ＹＹクラブメンバー（知的障がい者）のみで地域の施設を活用して余暇を過ごすことができるようになったことから、全体の活動は月3回から2回へ、そして現在は月1回となった。</li> <li>・ 平成12年、メンバーから一泊旅行がしたいとの要望があがった。支援者から「メンバーで企画してはどうか」と返したところ、2年後には、メンバーが旅行社に行き、企画を策定するまでに至り、現在、年1回の一泊旅行が定着した。</li> <li>・ 現在、月1回日曜日の定例会として、サッカー教室、バスケットボール教室、料理教室、パソコンクラブ、そして一泊二日の旅行（メンバーで企画）、などの活動を行っている。</li> </ul>
② 活動体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サッカー教室、バスケットボール教室、パソコン教室では、現支援学校教諭や支援学校退職教諭などの支援で活動している。</li> <li>・ 料理教室では、管理栄養士免許を持つ通所介護施設の施設長の方と八尾市ボランティア協会の方に協力いただいている。それぞれの教室で活動後は、料理教室で作られた料理を昼食として、昼食希望者みんなが歓談しながら食べている。</li> </ul>
③ 活動の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒業後に作業所や企業に就労している者や在宅になっている者など、様々な立場の者同士が、定例会で日々の活動や自分自身の思い、苦勞していることや趣味のことなどについて語り合ったり、スポーツや料理など好みの活動に参加することで、心身の健康を維持し、気持ちを発散し、明日への活力を得る場となっている。年1回の一泊二日の旅行は、毎月積み立てをしながら旅行当日を心待ちにするなど、生活のほりともなっている。</li> </ul>

## 活動の様子

		
サッカー教室	一泊旅行	調理と会食

## プロフィール

所在地	島根県松江市	活動分野	スポーツ
団体名	公益財団法人 島根県障害者スポーツ協会	主な対象	障がい種別全般
活動名称	障がい者のスポーツ活動の振興	団体の規模（団体の場合のみ）	4名 (事務局)
こんな活動です	気軽なスポーツ参加で生涯学習！		
連携している団体等	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、社会教育関係団体、スポーツ団体、文化芸術活動を行う団体、社会福祉法人、企業・事業所、行政（教育委員会、保健・福祉部局）		

## 活動の説明

①活動内容	<p>(1) 「しまねレクリエーション・フェスティバル」の開催 障がいの有無を問わず多くの方がスポーツを通じて交流を図るイベントで、障がい者スポーツやレクリエーションスポーツなどを気軽に体験できる。H28年度は県内2会場で延べ545人が参加した。</p> <p>(2) 障がい者スポーツ活動の支援 協会加盟の有無に関わらず幅広く団体・個人が利用できる「障がい者スポーツ活動支援助成金」を通して、地域に根差した障がい者スポーツ活動を支援している。H29年度は24団体が利用した。</p> <p>(3) 障がい者アスリートの発掘・強化支援 東京パラリンピックでの活躍を目指すトップアスリートの発掘及び強化支援を行っている。また、パラリンピアンを招いた講演会や競技体験会等を開催し、裾野の拡大に取り組んでいる。</p> <p>(4) 県大会の開催と全国大会への選手派遣 毎年県内各地で県障がい者スポーツ大会を開催し、H28年度は11競技に延べ725名が参加した。また、毎年全国障害者スポーツ大会に県選手団を派遣し、H29年度は過去2番目の好成績を収めた。</p>
②活動体制	<p>・各競技団体や県障がい者スポーツ指導者協議会、障がい福祉事業所、特別支援学校、県障がい福祉課と緊密に連携しているほか、障がい者スポーツの支援に積極的に取り組むあいおいニッセイ同和損害保険㈱が、H29年10月に県と包括業務提携を締結したことを受け、同社とも連携して活動していく予定。</p> <p>・「しまねレクリエーション・フェスティバル」の開催にあたり、共催団体である県保健体育課、県障がい福祉課、県体育協会及び県レクリエーション協会と定期的に会議を持つ等、緊密な連携を図っている。</p>
③活動の効果等	<p>・県唯一の障がい者スポーツを促進する団体として、長年にわたり地域に根差した活動を展開してきたことにより、障がい者スポーツ活動の取り組みの発展と、裾野の拡大につながっている。</p> <p>・障がい者と健常者の垣根を越えたスポーツ交流活動を通して、障がい者の社会参加と理解増進の促進につながっている。</p>

## 活動の様子



H29 しまねレクリエーションフェスティバル／本協会強化指定選手

県障がい者スポーツ大会／全国障害者スポーツ大会

## プロフィール

所在地	岡山県加賀郡吉備中央町	活動分野	スポーツ
団体名	岡山吉備高原車いすふれあいロードレース大会 組織委員会	主な対象	肢体不自由
活動名称	岡山吉備高原車いすふれあいロードレース大会	団体の規模（団体の場合のみ）	パナソニック吉備株式会社 他 14 団体
こんな活動です	車いす選手と一般ランナーが同じフィールドで 競いふれあうロードレースです。		
連携している 団体等	スポーツ団体、社会福祉法人、企業・事業所、 行政（教育委員会、保健・福祉部局、吉備中央町）		

## 活動の説明

①活動内容	<p>昭和 63 年から継続して、車いす選手と一般ランナーが同じコースを走り、共に競いあうロードレースを開催している。大会を通して、障害のある人もない人もお互いの理解を深め、交流を広げており、健康や体力づくりの面からも大きな貢献をしている。</p> <p>大会運営に当たっては、車いす選手や支援者等からの意見を取り入れ、ユニバーサルな大会運営に心がけている。</p>
②活動体制	<p>構成：岡山県障害者スポーツ協会、吉備高原医療リハビリテーションセンター、国立吉備高原職業リハビリテーションセンター、国立吉備青少年自然の家、株式会社吉備 N C 能力開発センター、社会福祉法人吉備の里、きびプラザ会、岡山県身体障害者陸上競技連盟、株式会社吉備高原都市サービス、社会福祉法人ももたろう会、パナソニック吉備株式会社、吉備中央町、吉備中央町教育委員会、吉備中央町体育協会、岡山県</p> <p>共催：株式会社山陽新聞社</p> <p>後援：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、他 30 団体</p> <p>構成団体間で役割を分担し、官民一体となって大会を運営している。大学生等若い人にボランティアとして活動してもらおうよう声かけしている。</p>
③活動の効果等	<p>パラリンピック出場者等、国内トップクラスの選手を含む県内外から約 1,500 人の選手（車いす選手約 100 人、一般ランナー約 1,400 人）が参加する大会に成長しており、約 1,200 人の大会ボランティアが地域住民の方々の協力を得ながら大会運営をサポートし、地域全体で大会を盛り上げようという機運にあふれている。</p> <p>今年度は第 30 回目の節目の年であり、今後の活動の継続と更なる発展が期待される。</p>

## 活動の様子



同時に走る車いす選手と一般ランナー



ボランティア等による大会準備

## プロフィール

所在地	広島県広島市	活動分野	学習
団体名	東雲親の会青年学級	主な対象	知的障害
活動名称	東雲親の会青年学級（東雲親の会の事業）	団体の規模（団体の場合のみ）	会員約 400 名
こんな活動です	もっと勉強したい！自分たちで創る学びの場！		
連携している団体等	小学校、中学校、特別支援学校、PTA、社会福祉法人、企業・事業所、広島大学		

## 活動の説明

①活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島大学附属東雲中学校特別支援学級の卒業生の卒業後のアフターケアを目的として昭和 45 年に開級し、現在は 10～60 歳代の約 400 名が在籍している。</li> <li>○ 障害のある人が豊かな人生を送るための生涯学習という観点から、読み書き、計算、コミュニケーションの取り方等の学習会に加え、充実した余暇活動の場として、スポーツや旅行など、レクリエーション活動も取り入れている。</li> </ul>
②活動体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月第 3 日曜日に、主に東雲中学校で活動している。</li> <li>○ 毎回、約 50 名の幅広い年代の参加がある。特に、運動会や交流発表会では、参加者が 200 名を超えており、とても活気がある。</li> <li>○ 年間行事計画、会計、案内ハガキの発送等、全ての学級運営は学級生が行っており、活動内容に応じて保護者、東雲中学校教員、広島大学生ボランティアがサポートしている。</li> <li>○ 活動経費は親の会会費と参加者からの実費徴収のみで運営しており、助成金等は活用していない。</li> </ul>
③活動の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会的自立に必要な知識、対人関係、余暇の使い方などを、学校卒業後も学べる場があることで、障害を持った方々がそれぞれのライフステージに応じた活躍が出来るようになってきた。</li> <li>○ 幅広い年齢が集い相談する場があることで、学級生や保護者が社会で孤立することを防いでいる。</li> <li>○ 年 3 回の行事（進路を語る会、運動会、交流発表会）を東雲小中学校と合同実施しており、参加した在校児童生徒の保護者にとっても「青年学級生から学ぶ場」となっている。</li> <li>○ 学びを通して成長する学級生の姿に感銘し、学級生を雇用した企業がある。</li> </ul>

## 活動の様子



学習風景



進路を語る会

## プロフィール

所在地	徳島県徳島市	活動分野	スポーツ
団体名	徳島市水泳協会	主な対象	肢体不自由、知的障がい
活動名称	障がい者スポーツ（水泳）の普及	団体の規模（団体の場合のみ）	20名
こんな活動です	43年にわたって、障がい者の水泳教室を開き、指導に当たってきました		
連携している団体等	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、スポーツ団体、社会福祉法人、行政（教育委員会）		

## 活動の説明

①活動内容	<p>「水泳の普及と指導」、「水泳関係者諸団体の育成と強化」、「水泳振興に関する各種行事の開催」等を目的として昭和43年に結成された当団体は、昭和49年1月に徳島県青少年センターが開館して以降、施設内の温水プールを利用して、月・水・金曜日に身体障がい者の水泳教室を行うほか、地域のスイミングクラブで障がい者の水泳大会を開催してきた。</p> <p>二十数年前から、障がい者の水泳大会の予選会（現ノーマピックススポーツ大会）にて、審判や大会の運営に尽力しており、障がい者スポーツセンターにて、知的障がい者の水泳教室を開いている。また、全国障害者スポーツ大会徳島県出場選手団のコーチとして強化練習の指導に当たっている。</p>
②活動体制	会長、副会長（4名）、理事長1名、事務担当者1名、会員約20名
③活動の効果等	障がい者が水泳に取り組む機会を創出し、障がい者スポーツの普及・促進に大きく貢献した。

## 活動の様子



障がい者水泳教室 1



障がい者水泳教室 2